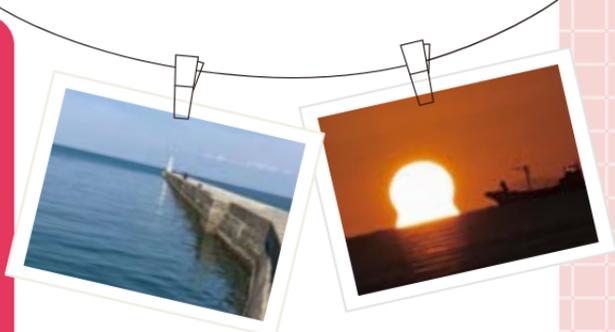




市内で見かけるさまざまな景色。一人一人、お気に入りの景観があるはず。鈴鹿市景観計画の改定にあたり募集した「自分だけの1コマ」写真の中から、魅力あふれる市内の景観写真を紹介しています。



「スーパーモト」に注目！

1970年代終盤にアメリカで生まれた「スーパーモト」という2輪競技をご存じでしょうか。オフロードバイクにオンロード仕様に近い足回りを施したマシンを用い、舗装路と未舗装路を組み合わせたコースを舞台に速さを競うもので、豪快な走りが魅力です。

当初「スーパーバイカーズ」と呼ばれたこの競技はヨーロッパに伝わり、フランスを中心に「スーパーモタード」としてヨーロッパ選手権に、さらに「スーパーモト」と呼称を変えて世界選手権まで成長しました。

実はこの競技、日本では1993年8月に鈴鹿サーキットで初めて行われました。その後、鈴鹿サーキットでの開催は途絶えましたが、2005年からはMFJ(日本モーターサイクルスポーツ協会)が統括する全日本選手権として各地のサーキットで熱戦が展開されています。名阪スポーツランド(奈良県)や美浜サーキット(愛知県)といった近隣県での開催もありますので、観戦に訪れてみてはいかがでしょうかでしょう。



■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

▲「スーパーモト」マシンの豪快な走り

広報すずか 2024年12月5日 編集後記

キーボード



今の部署に異動して「広報すずか」を作る側の立場になりましたが、それ以前から目は通すようにしていました。正直に書くと、広報には業務上必要なことが載っているからで、情報入手手段として読んでいるだけでした。ただ、そんな中でも小・中学生の子どもたちが書く人権作文だけは違います。

私は、感じたことを言葉や文章で表現するのが子どものころから苦手だったため、周りで起きた出来事や、そのとき感じた素直な気持ちが表現されている子どもたちの作文の上手さに感動しながら、いつも読み入ってしまいます。「読んでます」と時折声をかけられる編集後記は、大人になってから自分の思いを文章で表現しなければならない唯一の場。相変わらず書くのが苦手な私からは、4・5ページの素敵な作文を読んでもらうことをお勧めします。(由)